

立神峡だより

地域学校協働本部だより Vol.15

新しい看板が完成

立神峡里地公園は2つの吊り橋があり、毎年多くの観光客が訪れます。上流の龍神橋には公園内のログハウスなどの案内板を設置。火の国橋には、細川藩の絵師が描いた立神峡の岸壁の様子を看板に描き、当時と今の現況を比較できるように設置してあります。

県南の観光名所として、この素晴らしい景観を紹介するにふさわしい看板の出来上がりです。

日本名勝としての立神峡。そして、日本遺産としての東陽の石橋文化。この2つが融合することにより、さらに観光客が増えて、地元へ賑わいと潤いが増えることを願っています。



キャンプサイト・火の広場のクヌギを伐採し、整備しました

キャンプサイトは年々、キャンプブームとたき火の炎に癒されるとして多くのキャンパーが訪れます。

しかし、冬になると落ち葉の処理が大変で、たき火が落ち葉に移り、火事になるとも限りません。今回、伸びすぎたクヌギを芯止めすることにより、芝桜の芽吹きを良くするとともに、スズメバチの危険から逃れることなども考慮して伐採しました。

伐採したクヌギはチップにしたり、原木や薪として販売したり、駒打ち体験をしたりと用途はあります。詳しくはお問い合わせください。



外国人が立神峡を訪れ、火打石や景観の素晴らしさに感動

管理棟で作業をしていると4人の外国人が歩いてきたので、声をかけるとアメリカからといいます。直接来たのかと尋ねると、八代市内の中学校で英語教師として勤務してるとの事。

立神峡の事や火打石の事や火の国の由来などを英語で説明すると、理解できたみたいで安心しました。特に、火打石は着火体験してその石をプレゼントすると大喜びでした。

Facebookなどで友達に発信してもらおうようお願いするとともに、八代市内の子どもにも紹介するようにお願いしました。



龍神橋の所に大きな紅葉を移植しました

立神峡を紅葉の名所にするための一環として、管理者の自宅にあった樹齢約50年の紅葉の大木を掘り出し、龍神橋の近くに移植しました。

我が家で楽しむのも良いけど、多くの観光客に見てもらいたいとの願いから移植しました。

今年の秋には素晴らしい紅葉が観られることを期待しております。



「氷川町地域学校協働本部」は、地域と学校が連携・協働して子どもたちの成長を支えるとともに、地域に開かれた教育課程支援などの活動を行っています。



地域学校協働本部では、①学習支援、②家庭教育支援「くまもと親の学び」活用講座、③ふるさと「氷川学」を3本柱として活動中です。

今回紹介するふるさと「氷川学」は、主に地域と学校の交流を図りながら、人と人をつなぐ活動をしています。4つの項目に分かれており、子どもたちのふるさとへの誇りと愛情を育むことにも活用され、町の魅力に触れ、学ぶことができます。地域の皆さんや各団体の研修などにも活用できます。

ふるさとの歴史にふれる

古墳・干拓・神社や祠・薩摩街道 など

「干拓の歴史」や「古墳のひみつ」などを現地でも学習します



▲干拓の歴史についての講話

ふるさとの自然にふれる

四季探し・氷川の水環境・ホテル探しなど

身近な季節を探して形にすることや、「氷川」の水環境を知ることができます。



▲フラワーアレンジメントの様子

ふるさと「氷川学」

氷川町の偉人、自然、文化、歴史、産業などを教材に、地域の力を活用しながら行う学習

ふるさとのひと・もの・くらしにふれる

ふるさとの宝探し・昔遊び・ふるさとのおやつ・大豆のパワー・人にやさしい氷川町 など



▲みそづくり体験の様子

ふるさとのために自分が できることを考える

残したいふるさとについて・地域に貢献できること など



▲人にやさしい町づくり(中学生による講話)

12/23 かんたん手作りドーナツ作り ～竜北西部小3年生～

総合的な学習の時間に栄養教諭の松本先生の指導を受けながら、ホームケーキミックスを使ってドーナツを作りました。このドーナツは木綿豆腐を入れて作るもので、出来上がりもふんわりとしておいしそうでした。子どもたちは、思い思いの形に出来上がったドーナツに大喜びしていました。

【お問い合わせ先】 立神峡公園管理棟
☎ 62-1543 FAX62-1546 (8:30～17:30 火曜定休日)



◀立神峡里地公園 HP

【お問い合わせ先】 生涯学習課 生涯学習係 ☎52-5860